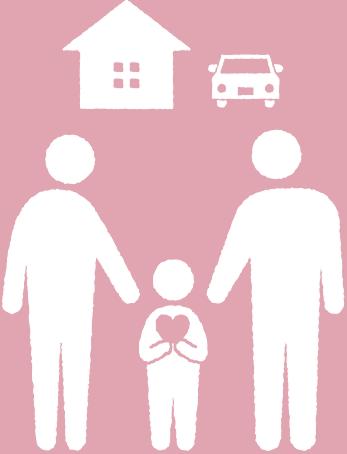
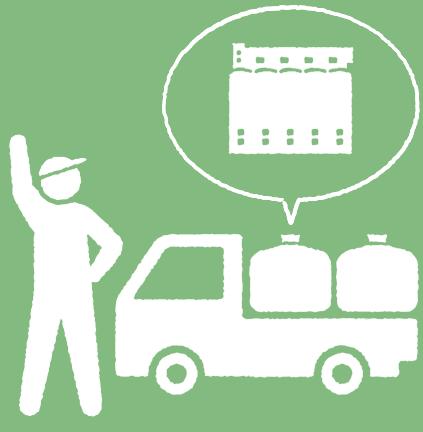




JAにしみのが わかる本 2021

ミニディスクロージャー誌



JAにしみの

地域にとって 「なくてはならない組織」となるために 自己改革を実践してまいります。



西美濃農業協同組合
代表理事組合長 小林 繩

平素より組合員・利用者の皆さんには、JAにしみのをご利用いただき厚くお礼申し上げます。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、当JAも厳しい事業展開を強いられました。そのような中、第8次中期経営計画の中間年度として、特に「物流改革」をはじめとした経済事業改革に取り組み、農業者や地域の皆さんを支える持続可能な経営基盤の確立・強化に取り組んでまいりました。

今年度も継続して自己改革を遂行するために、支店・事業所を含めた店舗体制を再構築することにより、合理的かつ機能的な経営の刷新を図り、組合員をはじめ地域の皆さんから必要とされる組織となるために取り組んでまいります。

この度、JAにしみのをより知っていただくために、「JAにしみのがわかる本」を作成しましたのでご一読いただけますと幸いです。

令和3年8月

経営理念

未来を見つめ 西美濃の大地に根ざして
さまざまな人々に 豊かな恵みとうるおいを与えるJA

プロフィール



協同組合とは



創立	平成11年7月1日
本店所在地	〒503-0849 岐阜県大垣市東前町955番地の1 TEL 0584-73-8111(代)
事業区域	大垣市、海津市、安八郡、養老郡、不破郡
総資産	6,254億円
貯金	5,803億円
貸出金	803億円
出資金	45億円
長期共済保有高	1兆1,267億円
組合員数	41,135人(うち正組合員数20,783人)
役員数	40人
職員数	667人
嘱託・パート	143人
自己資本比率	17.77%

(令和3年3月31日現在)

岐阜県南西部に位置し、2市6町
(大垣市・海津市・神戸町・輪之内町・安八町・養老町・垂井町・関ヶ原町)を管内としています。

協同組合とは、同じ目的をもった個人や事業者が集まり、お互いに助け合う組織です。

JAは農業者を中心とした「組合員」が、農家の営農と生活を守り高めることなど、よりよい地域社会を築くことを目的に組織された協同組合です。

 Japan Agricultural Cooperatives
ジャパン・アグリカルチュラル・コーポラティブズ

JAは「農業協同組合」の英語表記の頭文字をとったつけられたニックネームです。

第8次中期経営計画(令和元年度～令和3年度)

JAにしみのSDGs取り組み方針

I 農業者の所得増大の実現

担い手経営体への総合事業提案や地域実態を踏まえた多様な担い手への支援を通して、トータル生産コストの低減、マーケットインに基づく生産・販売事業方式の確立及び付加価値の増大と新たな需要開拓に取り組み、農業者の所得増大の実現を図る。

II 協同による地域の活性化への貢献

組合員との関係性構築により、組合員の「わがJA」意識の向上に取り組むとともに、JA活動やJA事業、行政や他団体との連携を通じて、協同の力を發揮し、地域の活性化に貢献する。また、「食」「農」「協同組合」にかかる幅広い情報発信の強化、地域密着広報の強化を図る。

III 総合事業機能発揮のための経営基盤強化

地域に根ざした経営戦略の構築及び経営の安定化に資する戦略の実践により、組合員が将来にわたってJAの事業を継続的に利用できるよう、総合事業機能発揮のための経営基盤強化を図る。



JAにしみは、「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として、組合員の皆さまの声に応えながら、不断の自己改革の取り組みを通じて、持続可能な地域農業・地域社会づくりに取り組んできました。

今後は、わたしたちの事業や活動が与える多面的な影響に配慮しながら、地域社会を構成する一員として、社会的役割を誠実に果たすため、国連において採択された「SDGs(持続可能な開発目標)」の達成に貢献し、地域とともに持続的な成長を目指してまいります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



重点取り組み項目

JAにしみのが行う主な事業を以下の3つの項目に整理し、関連する8つの目標の達成に向けて取り組みます。

1. 食料・農業事業分野

農業者の所得増大への取り組みを通じて、持続可能な食料の生産と農業の振興に取り組みます。

2. 地域・くらし事業分野

安心して暮らせる持続可能で豊かな地域社会づくりに貢献していきます。

3. 協同・組織運営分野

地域内外の多様な関係者・仲間との連携・参画に努めます。



自己改革取組状況

農業者の所得増大の取り組み成果

担い手への訪問活動の充実

出向く営農担当者TACが1担い手あたり平均25回(計画:12回)訪問し、担い手訪問活動を充実させました。



スマート農業の普及

スマート農業については、20経営体(計画:5経営体)にてスマート農機具(田植機、ドローン、自動給水栓、ハウス管理システム等)が新たに導入されました。



生産資材のコスト削減

肥料農薬予約注文書の特別価格による重点品目設定で、肥料2品目、農薬6品目、資材2品目の合計10品目(計画:10品目)の価格引下げを行いました。



直接販売の拡大

米穀の直接販売高は、卸売業者等への玄米の販売と精米センターを主とした精米等の販売の合計で19億5,076万円(計画:17.0億円)となりました。また、園芸作物の直接販売高は、市場等へ出荷せずファーマーズマーケットで販売したもの及び学校給食用へ販売したもの合計で2,801万円(計画:5,500万円)となりました。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、4~5月は小学校等が休校となり給食用食材の供給が停止、秋の農業祭等のイベント中止により販売実績が減少となりました。



低コスト生産技術の普及

低コスト生産技術の普及拡大について、水稻直播栽培は22経営体、密播疎植栽培は22経営体の合計44経営体(計画:40経営体)まで拡大しました。

GAP認証取得を支援

消費者との信頼を築く食の安全確保対策の徹底について、ぎふ清流GAP評価制度の現地審査が開始し、5件(計画:3件)が審査完了となりました。また、JA独自GAPについては、新たに5部会が取り組みを開始し、合計43部会となりました。



認証を受けて、一定水準を満たす生産者が表示できる、ぎふ清流GAPのロゴマーク

6次産業化の開発と販売

新規商品開発については、南濃みかんゼリーの試作品製造を行いました。



地域活性化の取り組みの成果



准組合員との関係性構築

准組合員のニーズやJAの取り組みに対する意見を把握するため、「准組合員モニター制度」を導入し、JA加工品玉ねぎドレッシング等の配布及びJA事業に関するアンケートを年3回実施し、さまざまな意見をとりまとめました。その結果については、全部署に発信し情報共有しました。

今後も自己改革の継続に取り組む

令和2年度は、第8次中期経営計画の中間年度として、概ね計画通りに進めることができました。令和3年度も自己改革の継続に取り組みつつ、支店統廃合による機能の効率化、事業所の再編、北部カントリーエレベーターの建設による共同利用施設の集約化など経営基盤の再構築を図り、地域農業や組合員・利用者の皆さまの暮らしを支える持続可能な経営基盤の強化を図っていきます。

メディアを活用した地域への情報発信

TV・新聞を活用した情報発信を12回実施しました。また女性部・ファーマーズマーケットについては、LINEを活用し、83回情報発信しました。



JAIしみの
ファーマーズマーケット



JAIしみの
女性部



JAにしみの
LINE

Q

01

野菜の栽培や資材のこと
気軽に相談できる担当者は
いますか？



A

野菜の栽培や資材のことなどわからないことがあれば、各区域の営農経済センターにご相談ください。TACが皆さまのもとに出向き、対応します。

TAC室 各区域のTAC職員をサポートしています。



「**T**とことん、**A**会って、**C**ommunication!!」の略称でもあり、担い手に出向くJA担当者の愛称です。

農業の未来は
私たち (TAC) が
サポートします！！！



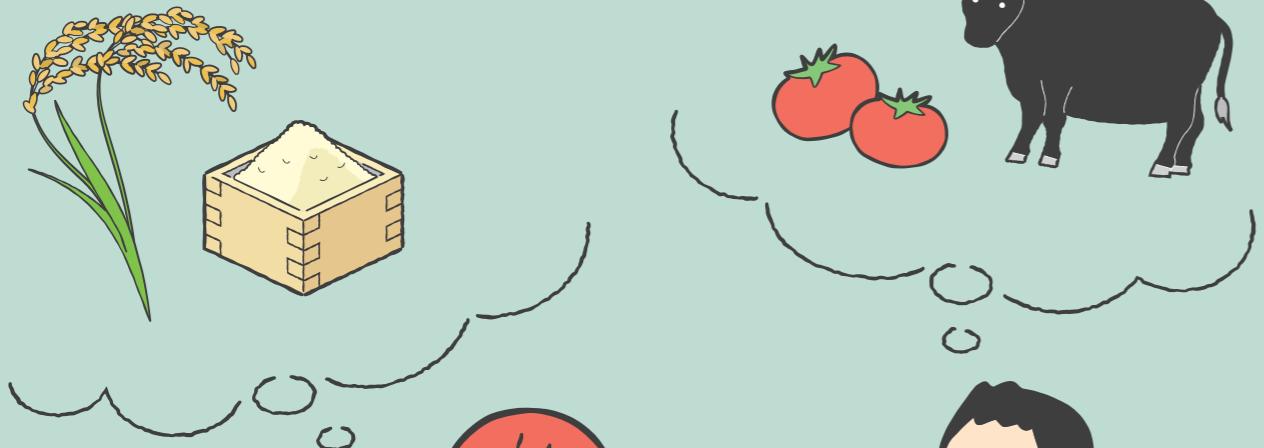
本店TAC室と営農経済センターに**18人**のTAC職員を配置。
TACは、地域農業をコーディネートする
「Team for Agricultural Coordination」の頭文字から、名付けられました。



Q

02

一番多く取り扱っている農畜産物は何ですか？



農畜産物の取扱高
99 億円

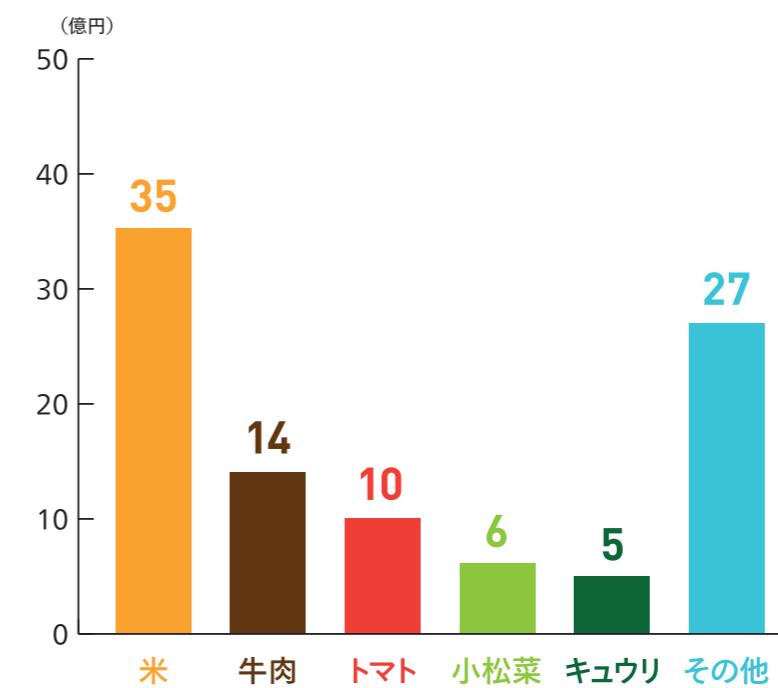
A

にしみの管内の代表的な農畜産物といえば、米。
令和2年度では35億円の取扱高となりました。

- 1 米 35億円
- 2 肉牛 14億円
- 3 トマト 10億円



販売品取扱高



その他には、小麦・大豆・グリーンねぎ・甘長ピーマン・シunjingk・水菜・ナバナ・モロヘイヤ・ダイコン・ホウレンソウ・サラダほうれん草・ナス・エダマメ・フキ・キャベツ・ブロッコリー・サトイモ・ミニトマト・インゲン・はくさい菜・タマネギ・イチゴ・柿・ミカン・メロン・梨・イチジク・バラ・アルストロメリア・花卉・生乳など

令和3年3月31日現在

Q

03

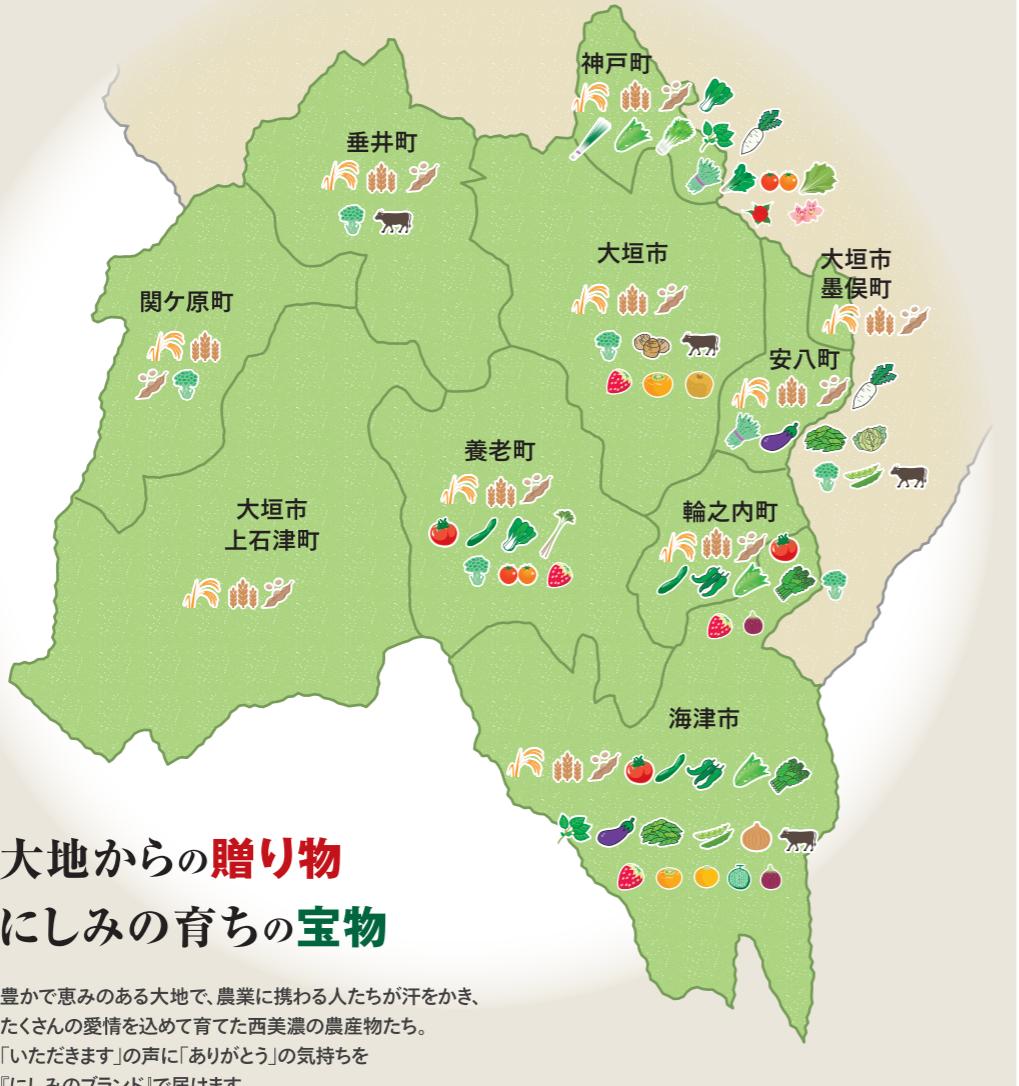
にしみのブランド

33品目



大地からの贈り物 にしみの育ちの宝物

豊かで恵みのある大地で、農業に携わる人たちが汗をかき、
たくさんの愛情を込めて育てた西美濃の農産物たち。
「いただきます」の声に「ありがとう」の気持ちを
『にしみのブランド』で届けます。



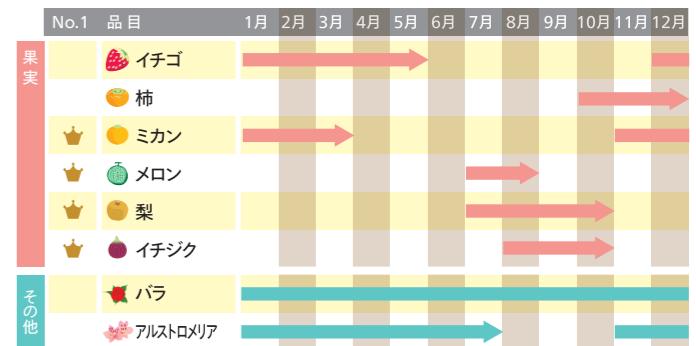
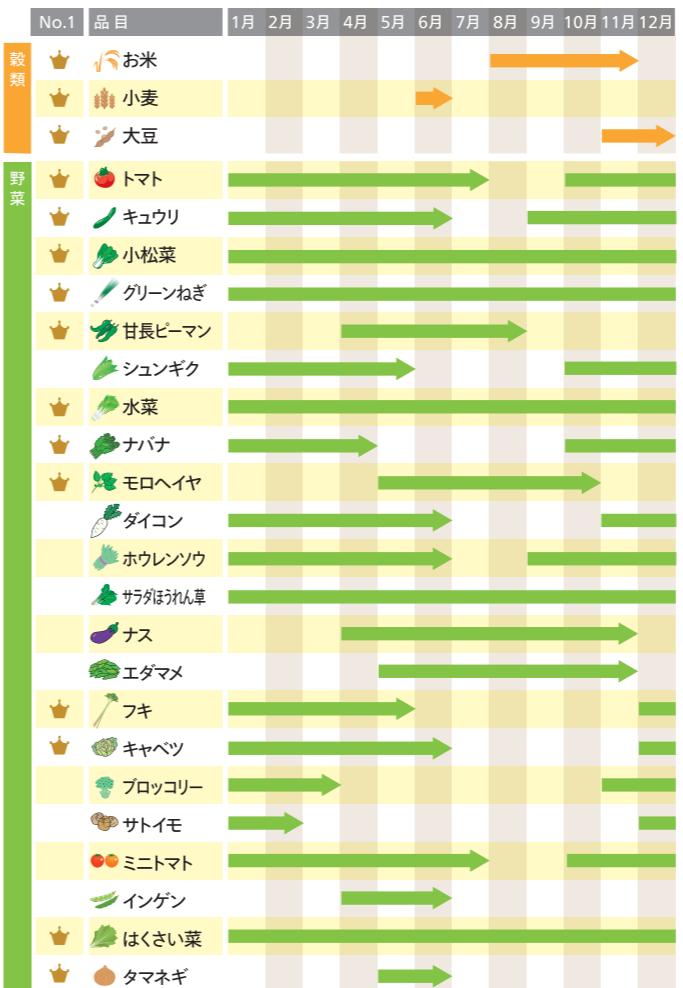
畜産(肉用牛・乳用牛)

A

県内有数の農業地帯として、ハウスを利用した園芸が盛んな地域です。
特に米・麦・大豆などは県内最大の産地を形成しています。
ぜひ、味わってみてください。

『にしみのブランド』旬採カレンダー

県内シェア No.1



(JA全農岐阜・当JA調べ)
令和3年3月31日現在



生産者及び消費者に地産地消が見える形の『にしみのブランド』応援キャンペーンをスタートしました。当JA管内で、『にしみのブランド』を使用いただいている飲食店様から募集し、応募いただいた飲食店様に『にしみのブランド』応援プレートを進呈します。

なお、管内180店舗の飲食店様より応募いただき、『にしみのブランド』応援プレートを進呈しました。

令和3年3月31日現在



『にしみのブランド』
応援店MAPはこちらから

※収穫時期は、天候や生育状況等により、異なる場合があります。

Q

04

一番集荷されている お米の品種は何ですか？

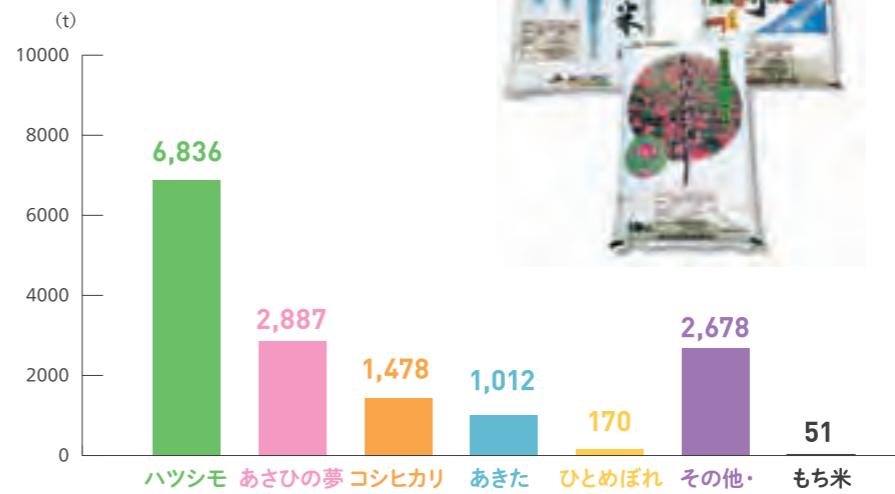


A

“地元のお米”といえばやっぱりハツシモ。

県外ではほとんど栽培しておらず、幻のお米とよばれています。

お米の品種別集荷量



米の集荷数量

25万俵



ハツシモ 大粒で歯ごたえ十分

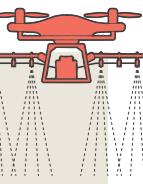
ハツシモの米粒はお米の中でも1、2を争うほど大きく、光沢もあるため見栄えの良いお米です。食べると粘り気が少なくさっぱりとしていますが歯ごたえがあり食感が良いとされています。また、年間を通じて味が落ちにくく、いつでもおいしく食べることができます。さらに、冷めてもおいしく食べられるため「すし飯」としても高い評価を得ています。

あさひの夢 お米本来の甘みが特長

最大の特徴はお米が本来持っている甘みです。また、粘りもほどほどで、あっさりとしてしつこさを感じさせません。そのため、ファミリーレストランやコンビニエンスストアなどで使われる業務用米として人気があります。おかずの味を引き立ってくれるそんなお米です。

コシヒカリ 強い旨みと粘りが特長

全国で一番多く栽培されている品種で、管内では昼夜の寒暖差が大きい中山間地を中心に栽培されています。炊き上がりがふつくらと柔らかく、強い旨みと粘りが特長でお米本来の味や香りが強いため、薄味の和食よりも味付けの濃い料理との相性がバツグンです。



**Q
—
05**

農業をよくするために JAはどんなことをしているのですか？



TACによる担い手農家支援

TAC15名を中心に、農業者の所得増大を目指し、実需者ニーズに沿った新品種の作付け提案や低コスト生産技術・生産資材の提案等の活動を行いました。



農産物の生産拡大

複合経営の取り組みとして担い手・営農組織を中心に加工業務用野菜の作付け提案を行い、キャベツの出荷量は過去最高となる1,473t、タマネギの収穫量は176tとなりました。



コスト削減・スマート農業

コスト削減技術として継続的に「高密度播種苗移植技術(密播疎植栽培)」に取り組み、560haまで拡大しました。また、スマート農業については、岐阜大学と連携して水稻・小麦栽培におけるドローンを活用した生育診断(リモートセンシング)の現地実証に取り組みました。



生産者と実需者を繋ぐ取り組み

「JAにしみの営農連絡協議会」と連携し、実需者ニーズの高い多収性米「ほしじるし」の作付提案を行いました。令和2年産では作付面積490haまで拡大し、所得の安定化に繋げることができました。また、業務用向け多収性品種を対象とした「JAにしみの産米多収コンテスト」を開催し、多収技術の向上に繋げました。



アグリサポート資金

融資担当とTAC、支店職員が連携し、担い手農業者等への訪問活動を実施することで、農業関連資金「アグリサポート資金」の提案、PR活動を積極的に行いました。結果、令和2年度の農業関連資金は、実行件数82件(前年対比+3件)、実行金額4億5,473万円(前年対比+3,881万円)となりました。



農機具等の購入を助成

地域の中核となる担い手農業者等に対して、農機具等購入にかかる支援を行うことにより、担い手農業者等の規模拡大及び生産コストの低減を後押しし、農業所得の増大を図りました。結果、令和2年度の助成金額は2,615万円となりました。

制度資金	一般資金
<ul style="list-style-type: none"> 農業近代化資金 農業経営基盤強化資金(スーパーL) 青年等就農資金 など 	<ul style="list-style-type: none"> 農業関連資金 農業振興資金 担い手営農支援資金

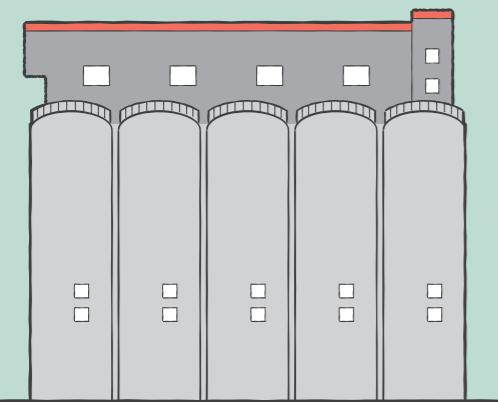
JAカード直売所割引

クレジットカード決済の導入による直売所における決済手段の多様化に対応するとともに、JAカード利用者への決済時5%割引により、直売所利用者の拡大を図り、直売所売上の増加・生産者の所得増大に取り組みました。



Q
—
06

穀類に関する施設の利用状況は？

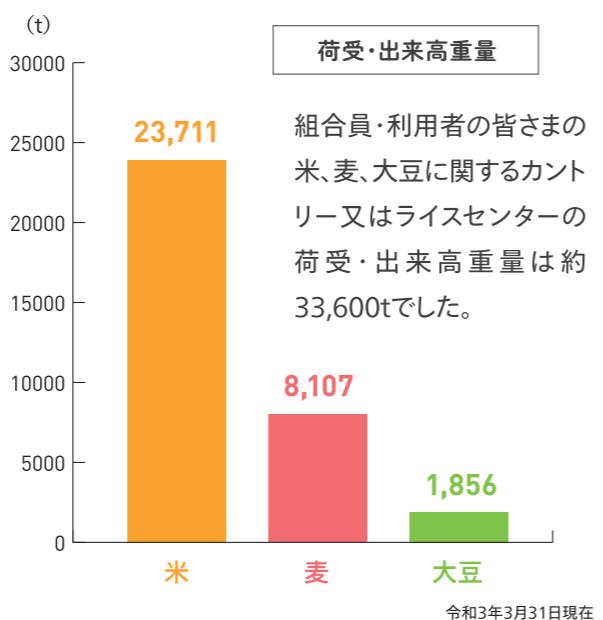


A

米・麦・大豆はカントリーエレベーター、ライスセンターに持ち込まれます。

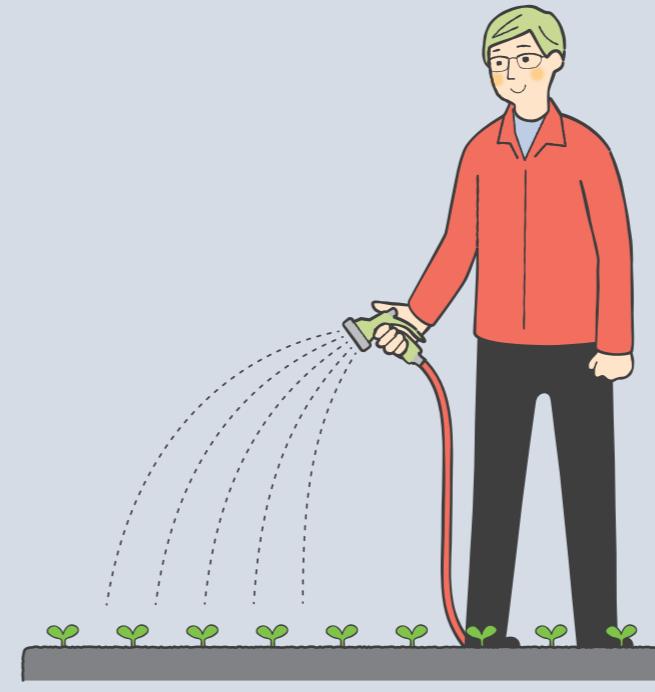
穀類の荷受け重量

3.3万t



Q
—
07

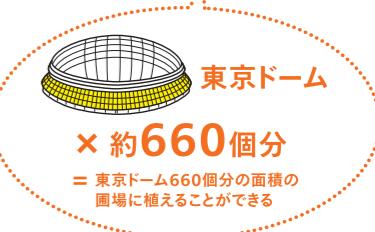
育苗センターの利用状況は？



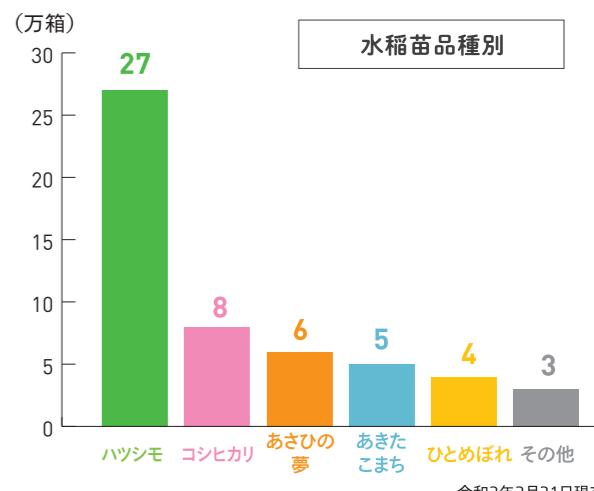
A

育苗センターでは水稻苗を育てており、生長した苗は各農家の皆さんのもとで大切に育てられています。

水稻苗 53万箱



- 1 ハツシモ 27万箱
- 2 コシヒカリ 8万箱
- 3 あさひの夢 6万箱



Q

08

JAにしみのでは、どんな商品が販売されていますか？



購買品供給高

68億円

A

農家の皆さんに肥料や農薬など農業生産に必要な生産資材、

地域の皆さんに日用品など生活に必要な生活資材を安定的に販売しています。



肥料・農薬

14億円



農業機械

13億円



葬祭・ギフト

6億円

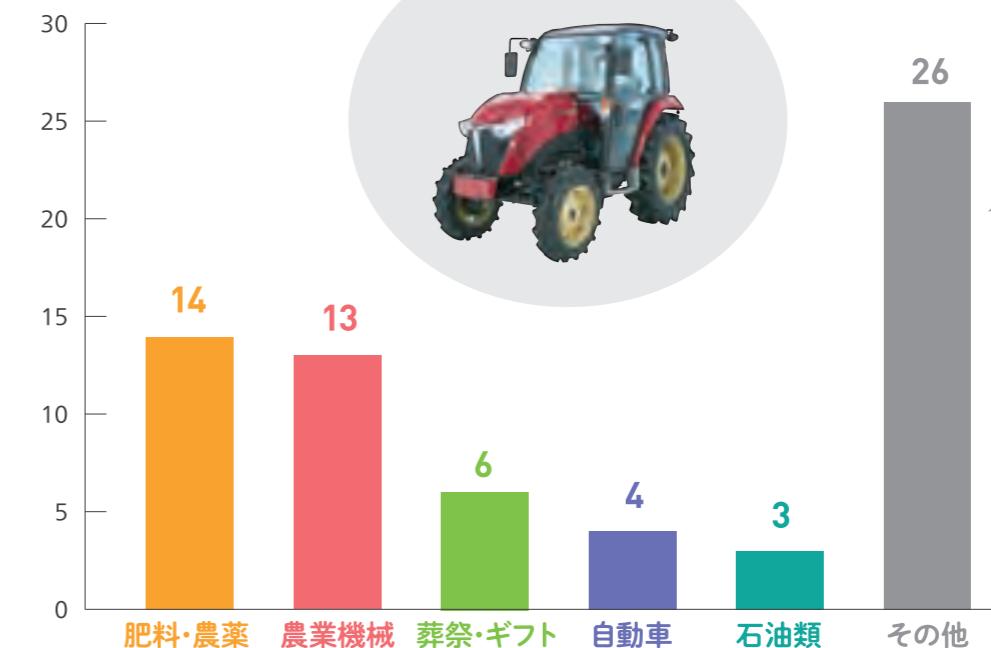
化成肥料や土壤改良材を中心とした肥料と除草剤や殺虫剤を中心とした農薬の供給高

トラクター・収穫・乾燥調製機や農機部品を中心とした農業機械の供給高

葬祭・お中元・お歳暮を中心とした供給高

購買品供給高

(億円)



その他には、食料品・LPガス・耐久資材（シロアリ駆除・仮塙ほか）など

令和3年3月31日現在

Q

09

JAにしみのに預けている 貯金はどのように運用されて いますか？



皆さまからお預かりした貯金
5,803億円

JAバンクとは

JA、信連、農林中央金庫が一体とな
り、実質的に”ひとつの金融機関”と
して機能するグループの名称です。

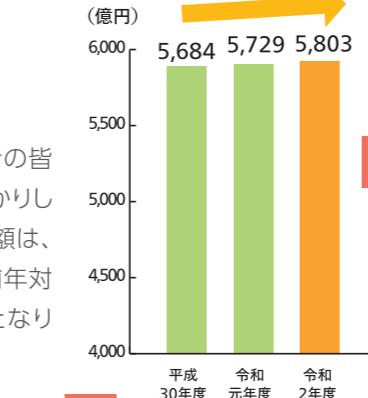
A

組合員や地域の皆さまからお預かりした大切な貯金を安全に運用し、
事業を行っています。

貯金残高 5,803 億円

調達

組合員・利用者の皆
さまからお預かりし
た大切な貯金額は、
5,803億円(前年対
比101.2%)となり
ました。



運用

有価証券残高 467 億円

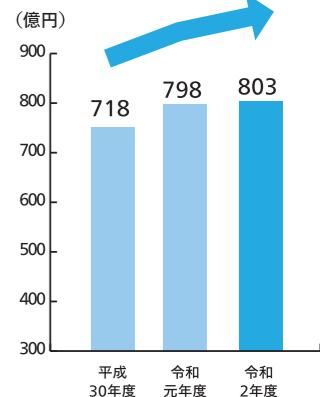
有価証券は、資金の効率的運用
をするために社債(電力債)を中心
に購入し社債は約20億円増加
しましたが、国債・地方債につい
ては、満期償還等が約50億円と
なりました。結果、約30億円減少
し、467億円(前年対比93.8%)
となりました。



地域の方へのご融資

貸出金残高 803 億円

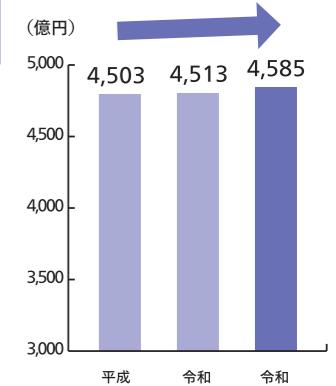
皆さまからお預かりした貯金等を
地域の農業や生活資金としてご
融資し、803億円(前年対比
100.6%)となりました。



運用

信連預金残高 4,585 億円

みなさまからお預かりした貯金
等をJAグループであるJA岐阜
県信連で大切に運用しています。



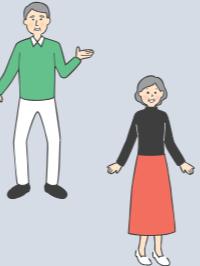
令和3年3月31日現在

Q
10

生活に役立つ共済保障は どのようなものがありますか？

A

「ひと・いえ・くるま」のさまざまな暮らしのシーンで必要な
総合保障を提供しています。



ご加入いただいている
皆さまの共済保障額

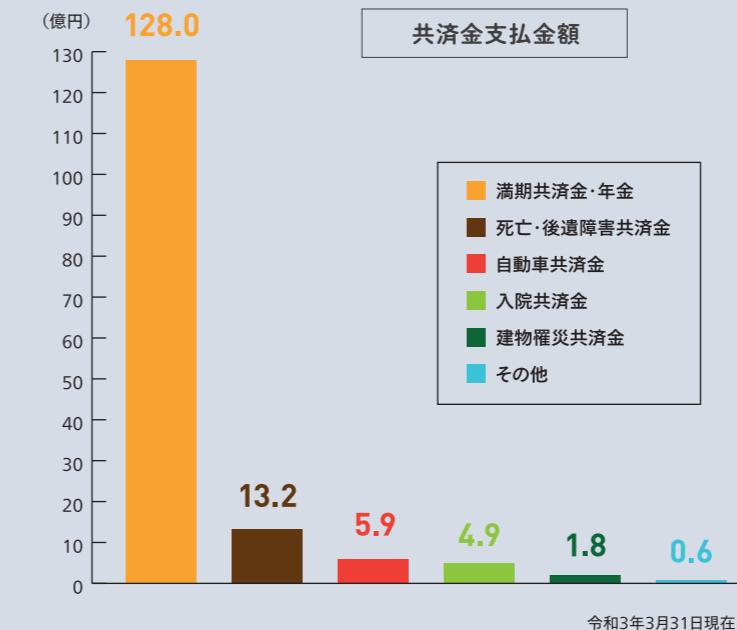
1兆1,267億円

長期共済保障額
1兆1,267億円

生命総合共済保障額
4,424億円

建物更生共済保障額
6,843億円

共済は、組合員・利用者の皆さんに対し、幅広いニーズに即した提案に取り組み、ご契約をいただいた結果、生命総合共済保障額4,424億円、建物更生共済保障額6,843億円となり、合計保障額は1兆1,267億円となりました。



皆さんにお支払いした共済金
154億8,736万円

共済金では、お客さまの早期対応・支払に努め、満期共済金・年金・入院・建物罹災・自動車事故等の多岐にわたり、総額で154億8,736万円のお支払いとなりました。

支払内訳	令和2年度	
	件数	支払額
満期共済金・年金	16,398	128億783万円
死亡・後遺障害共済金	358	13億2,783万円
入院共済金	3,239	4億9,895万円
建物罹災共済金	518	1億8,837万円
自動車共済金	2,190	5億9,834万円
自賠責共済金	110	5,100万円
火災・傷害共済金	88	1,501万円
合計	22,901	154億8,736万円

Q
11

J A共済の支払余力は、 十分な水準ですか？

A

J A共済の支払余力(ソルベンシー・マージン)比率は、1,276.9%となっています。支払余力比率とは、通常の予測を超えて発生する諸リスク(大規模自然災害など)に対応するため、どのくらいの支払余力を備えているかを判断するための経営指標のひとつです。

J A共済の
支払余力比率
1,276.9%

※JA共済では、生命共済事業と損害共済事業の両方を実施しているため、生命保険会社または損害保険会社のソルベンシー・マージン比率を単純に比較はできません。なお、この比率が200%を下回った場合には、監督官庁による業務改善命令などの対象となります。



Q

12

JAにしみのと地域との 交流はありますか？



まめなかな運動

まめなかな運動の一環として行っている「出前授業」「農業体験」「ふれあいキッズクラブ」は、次世代を担う子どもたちに向け女性部会員『ふるさと隊』が中心となり取り組んでいますが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、JAからの積極的な対外活動は自粛しました。その中で、依頼を受けた管内11の小学校に対しては大豆の播種・収穫の「出前授業」を行いました。

また、収穫体験は、希望された小学校に野菜の種を進呈し、自宅で栽培・収穫体験をしていただきました。加えて、Stay Homeでも簡単にできるペットボトルを活用した栽培方法も紹介しました。毎年実施している「豆腐作り」もコロナ禍により自粛となつたため、豆腐作り動画(DVD)を作成し「豆腐作り、動画で出前授業」と題して16校に贈呈しました。



バケツ稻作体験

管内6の小学校に出向き、185名の児童にバケツを使った稻作体験学習を行いました。



園児向け農業体験

幼稚園児・保育園児72名を対象に、サツマイモなどの定植・収穫体験など、さまざまな食農教育活動を行いました。



医療現場支援

医療現場のマスク等が不足する中、医療現場の不安解消・地域医療の維持を図るため、養老町の西美濃厚生病院に一般医療用マスク3,000枚を寄贈しました。



ボランティア活動

- 献血への協力 134名(職員含む)
- 消防団への加入 各分団に職員42名が加入

AED設置

当JAの店舗をご利用いただく組合員や地域の方々に対して、災害や病気、不慮の事故等、緊急事態に備え、本店・支店・事業所に合計53台設置しています。

環境保全活動

- 廃ビニール・廃プラスチック・廃農薬の回収
廃ビニール・廃プラスチック:回収約78t(全区域)
廃農薬:回収約6t(全区域)
- レジ袋有料化の実施による寄付
自治体への寄付:145,729円



おうちde農業祭

毎年各区域で開催している農業祭が新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったことから、年に1度、組合員・利用者の皆さんに何らかの形で感謝をお伝えする場として、「おうちde農業祭」を企画し、11月に開催しました。



新型コロナウイルス感染症対策

窓口におけるアクリル板や消毒液の設置、職員のマスク着用や出勤前の検温実施・報告、訪問時の消毒液携行等、感染症対策に取り組みました。また、ファーマーズマーケット、ローンセンター等、一部の事業所の営業時間を短縮し、ファーマーズマーケットでは、定期的な消毒作業と常時換気を行いました。



女性部活動

女性部では、4月から無料通信アプリ「LINE」の運用を始め、新型コロナウイルス感染症の影響によりマスクが不足する中、手作りマスクの作り方の紹介、福祉施設へのマスク寄付を呼びかけるなど、チラシ助け合い運動を展開しました。これにより約400枚のマスクが集まり、管内4つの福祉施設へ寄贈しました。



情報提供活動

皆さまとのコミュニケーションツールとして、広報誌「JAN!」を毎月約4万部、JAにしみのをより分かりやすく知りていただくために、ミニディスクロージャー誌「JAにしみのがわかる本」を約3万6千部発行しました。また、新たな情報発信ツールとして、ファーマーズマーケットと女性部でLINEの運用を開始し、ファーマーズマーケットでは旬の農産物や売り場の情報、イベント案内、女性部では食と農の魅力を中心にさまざまな情報を発信しました。

JAにしみのYouTube公式チャンネル



農業者向けメールマガジン



スポーツ支援活動

日本女子ソフトボールリーグに所属する大垣ミナモソフトボールクラブを支援しています。昨年は、コロナ禍で練習が思うようにできませんでしたが、各試合で熱戦の末、念願の1部リーグ昇格を果たしました。なお、当JAには2名の選手が在籍しています。



Q
13

JAにしみのの財務状況・安全性・健全性について教えてください。

A

令和2年度の財務状況は、ご覧のとおりです。また、金融機関の健全性・安全性を示す目安として不良債権比率と自己資本比率があります。

JAにしみのは安定した収入を計上しています。JAにしみのの総資産は6,254億円、当期剩余金は5億5,106万円でした。詳しくは、期末時点の財務状況が分かる貸借対照表と一事業年度の期間損益が分かる損益計算書でることができます。

貸借対照表

(期末時点での財務状態を把握することができる表)

(令和3年3月31日現在) (単位:千円)

資産の部	
科 目	金 額
信用事業資産	589,138,652
共済事業資産	1,649
経済事業資産	3,064,743
雑資産	876,337
固定資産	8,461,843
外部出資	23,879,591
繰延税金資産	73,219
資産の部合計	625,496,036

(単位:千円)

負債・純資産の部	
科 目	金 額
信用事業負債	581,556,629
共済事業負債	1,403,484
経済事業負債	1,433,675
雑負債	1,016,526
諸引当金	1,366,772
負債の部合計	586,777,088
組合員資本	37,894,973
評価・換算差額等	823,974
純資産の部合計	38,718,947
負債・純資産の部合計	625,496,036

損益計算書

(一事業年度の期間損益を確定し、どれだけの利益を得られたかがわかる表)

(令和2年4月1日～令和3年3月31日) (単位:千円)

科 目	金 額
事業総利益	7,589,393
信用事業総利益	3,896,898
共済事業総利益	1,877,361
購買事業総利益	553,163
販売事業総利益	349,476
保管事業総利益	58,321
加工事業総利益	43,333
利用事業総利益	881,146
宅地等供給事業総利益	3,366
農用地利用調整事業総利益	877
指導事業収支差額	△74,553
事業管理費	6,511,306
事業利益	1,078,086
事業外収益	332,308
事業外費用	14,254
経常利益	1,396,140
税引前当期利益	814,427
法人税等	263,363
当期剩余金	551,063

事業総利益

事業収益から事業費用を差し引いたもので、本業で得た利益の骨格部分と言えます。別名「粗利益」とも呼ばれます。

事業管理費

事業活動に要した費用のうち、事業費用に算入されないものを言います。一般的に事業収益に関係なく固定的にかかる費用で職員の給与や減価償却費、水道光熱費などが含まれます。

経常利益

事業利益に事業外収益・事業外費用を加減したものです。事業外収益には受取出資配当金など、事業外費用には事業に属さない諸費用が含まれます。

税引前当期利益

経常利益に特別利益・特別損失を加減したものです。特別利益には一般補助金など、特別損失には固定資産減損額や固定資産取壊費用などが含まれます。

当期剩余金

税引前当期利益から法人税・住民税等の納税充当額を控除した額で、利益処分の原資となります。一般企業の当期純利益にあたります。



安全性

自己資本比率

17.77 %

国内基準では
4%以上

自己資本比率規制に関する告示が改正され、平成26年3月末から新基準(バーゼルIII)に基づき算出しております。自己資本比率は17.77%と国内基準の4%はもとより、JA銀行自主ルールの8%を大きく上回り、安全性は高い水準を維持しています。



自己資本比率とは…

リスクを持つ資産に対する自己資本額の割合を表し、金融機関の体力や安全性を示す客観的な指標です。JAの場合は、JA銀行の自主ルール基準で8%以上の自己資本比率が義務付けられています。

(注)国内基準を適用する金融機関では、4%以上とされています。



健全性

不良債権比率

1.81 %

比率が低い
ほどよい



金融再生法に基づく開示債権は14億57百万円、総与信805億2百万円(※1)に対する比率は1.80%と前年より0.35%低くなり、資産の健全性は引き続き高い水準を維持しています。



不良債権比率とは…

貸出金等の総与信残高に占める不良債権の割合を表し、金融機関の健全性を示す指標の一つです。この比率が低いほど健全な貸出金等が多いといえます。

もしもの時、困った時の連絡先

キャッシュカード・通帳をなくしたら…

全国集中監視センター

0120-215-522

交通事故を起こしたら…(自動車共済)

JA共済事故受付センター(24時間、365日)

0120-258-931

JAカード(一体型含む)をなくしたら…

三菱UFJニコス(株)
NICOS盗難紛失受付センター(24時間、365日)

0120-159-674

レッカー移動や故障時の応急処置が必要な場合は…

JA共済サポートセンター(24時間、365日)

0120-063-931

LPガスの消し忘れや故障の場合は…

LPガス集中監視センター(24時間、365日)

0120-182-571

葬儀のお申し込みは…

JA葬祭コールセンター(24時間、365日)

0120-68-2430

当JAに関する情報は
こちらのホームページで
ご覧になれます。

にしみの



で検索

or

<https://www.jan.or.jp/>

※支店の連絡先は当冊子の32ページをご参照ください。 令和3年8月31日現在



※当冊子は、農協法第54条の3に基づいて作成したディスクロージャー誌(本編)を抜粋して作成したミニディスクロージャー誌です。詳しい内容につきましては、本・支店に備えています本編をご覧いただけますようお願いいたします。なお、ホームページにも掲載しております。

J Aにしみのアンケート

「JAにしみのがわかる本 2021」に関する
アンケートにお答えください。

お寄せいただきましたご意見・ご感想は、今後のミニディスクロージャー誌の作成並びにJAにしみの事業運営の参考とさせていただきます。右のハガキにご記入の上、ミシン目で切り取ってご投函ください。ご協力を願いいたします。

アンケートをお寄せいただきました方の中から
抽選で50名様に、
農協全国商品券(1,000円分)を
プレゼントいたします。

応募期限:令和3年12月31日(金)まで

なお、当選者の発表は賞品の発送をもって
かえさせていただきます。



J Aにしみのアンケート

問1. (1)～(4)について当てはまる番号を○で囲んでください。

- | | | | | | |
|------------|------|--------|------|--------|------|
| (1) 情報量 | 5.良い | 4.やや良い | 3.普通 | 2.やや悪い | 1.悪い |
| (2) 掲載内容 | 5.良い | 4.やや良い | 3.普通 | 2.やや悪い | 1.悪い |
| (3) デザイン | 5.良い | 4.やや良い | 3.普通 | 2.やや悪い | 1.悪い |
| (4) 文字の大きさ | 5.良い | 4.やや良い | 3.普通 | 2.やや悪い | 1.悪い |

問2. 興味を持った内容の番号を○で囲んでください。(いくつでも可)

- 1.TAC紹介 2.事業内容 3.活動内容 4.経営資料
5.その他()

問3. その他本誌について、お気付きの点をご記入ください。

問4. JAにしみへのご意見、ご要望などご自由に記入ください。

J A にしみ の アンケート

「JAにしみのがわかる本 2021」に関するアンケートにお答えください。

郵便はがき

5038790

184

(受取人)

大垣市東前町955番地の1

JAにしみの
総合企画部企画管理課 行

料金受取人払郵便



差出有効期限
2022年10月
31日まで

(切手を貼らずに)
(お出しください。)



必要事項を記入の上、ご投函ください。

ふりがな

お名前

郵便番号

-

ご住所

電話番号

性別 男 女

年 代 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上

抽選で50名様に、
農協全国商品券(1,000円分)を
プレゼントいたします。



ハガキ裏面のアンケートに
お答えください

※皆さまからご提供いただいた個人情報については、今回の利用目的以外の目的では利用いたしません。万一、当該目的以外の目的で利用する場合や、利用目的そのものを変更する場合は、事前に皆さまにお知らせいたします。なお、利用目的に照らして不要となった個人情報については、速やかに且つ適正に削除・廃棄いたします。